

スズメ蜂対策

春の対策



春になると女王蜂は冬眠から覚め、一匹で巣を作ります（営巣）。そして、巣の中で卵を生み、狩猟をしながら働き蜂を育て、巣を徐々に大きくしていきます。働き蜂は夏から秋にかけてどんどん増え、数が多くなるほど外敵に対する攻撃性は高くなり、危険性も大きくなります。

家の近くや屋根の軒下などに巣が作られた場合、巣が巨大化する前に駆除できれば危険は少なくてすみます。また、人が生活する身近な場所に巣を作らせない対策をとることも重要（必要）です。

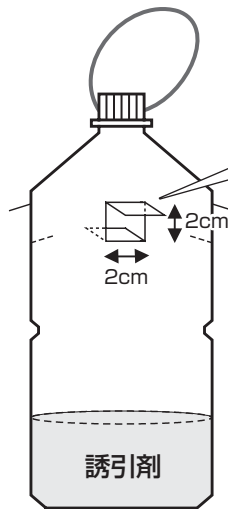
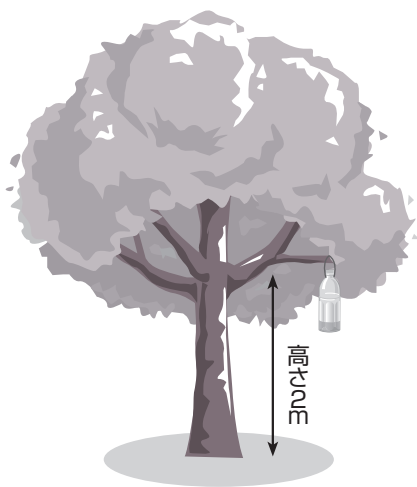
ペットボトルでハチトラップを作しましょう

トラップで使用する誘引剤は、樹液と同じようなにおいを作り出し、飛んでいるスズメ蜂（女王蜂）をおびき寄せて捕獲します。

ハチトラップの作り方の一例を紹介します。

- ◆ 材料 ① 2ℓまたは1.5ℓのペットボトル
- ② 酒300mℓ・酢100mℓ・砂糖125g
- ③ ひも

- ◆ 手順 ペットボトルにカッターで蜂の入口となる穴（図参照）を2～4カ所作る。次に②をよく混ぜ合わせ誘引剤を作り、ペットボトルにひもをつけてから誘引剤を入れ、木の枝など半日陰になるような所にぶら下げる。



上部は屋根を作るように手前に、下部は奥に折り曲げる。

- 注1 誘引剤が少なくなったら水または誘引剤を足してください。
- 注2 誘引効果は条件により異なる場合があります。

巣を作りやすい場所



頻繁に飛来している場合はどこから飛んでくるのか行き先を確認しましょう。家の周囲を定期的に点検し、整理整頓を心掛け、資材などの物を長期間放置しないようにしましょう。

■ 問い合わせ ■ 環境課 環境推進グループ ☎52-1111（内線123）